

ミズノ株式会社

第100期(2013年3月期)

第2四半期 決算説明資料



2012.11.9

・この説明資料には、2012年11月9日現在での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
・世界経済・競争状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

- 12年度第2四半期業績結果について
- 所在地別の概況
- 最後に

■ 増収(3期連続)減益(3期ぶり)

- ・五輪関連マーケティング費用は上期に計上。下期、反転攻勢へ
- ・セノー子会社化による売上増を除いても増収に
- ・仕入れコスト上昇により売上総利益率は1ポイント低下

■ 好調地域は日本、米州。事業はランニングが堅調に推移

- ・米州は事業全般で好調に推移
- ・ランニングシューズ販売数は前年同期比113%(456万足;グローバル)

■ ロンドン五輪を通じてブランド・ビルディング実践

- ・61ヶ国でミズノ品使用。トータル52個のメダルを獲得
- ・欧州 人気の高いインドアスポーツ強化(ハンドボール、バレーボール)

連結損益計算書(累計)

■ 仕入コスト増による売上総利益率の低下と積極的な宣伝販促活動による経費増で減益。

(億円)	11年度Q2累計実績	12年度Q2累計実績	前期比(%)
売上高	781	813	+4.2%
売上総利益	335	341	+1.7%
売上総利益率	42.9%	41.9%	-1.0P
販売管理費	291	311	+6.7%
販売管理費率	37.3%	38.2%	+0.9P
給与手当・賞与	102	108	+5.5%
広告宣伝費	55	63	+14.6%
営業利益	44	30	-31.6%
営業利益率	5.6%	3.7%	-1.9P
経常利益	39	26	-33.4%
経常利益率	5.0%	3.2%	-1.8P
純利益	22	17	-23.7%
円/1USD	81.7	79.5	
円/1GBP	129.5	125.8	
円/1EUR	114.1	101.1	

- セノー(株)を連結範囲に加えたことにより、無形固定資産などが増加。

(億円)	11年度2Q末	12年度2Q末	前期増減
資産合計	1,236	1,395	+159
現金及び預金	165	154	△11
受取手形及び売掛金	274	311	+37
在庫	239	279	+40
有形・無形固定資産	374	470	+96
投資有価証券	68	67	△1
繰延税金資産(流動・固定)	44	47	+3
負債合計	474	614	+141
短期有利子負債	52	71	+18
長期有利子負債	98	161	+63
その他負債	324	383	+60
純資産合計	762	780	+18

業績結果の概要(累計)

- グローバルでランニングシューズの販売堅調。日米でゴルフクラブの売上増。

対前年

売上	813億円	33億円増(4.2%増)
----	-------	--------------

換算為替の影響	△8億円(1.0%減)
---------	-------------

為替影響以外の増減	+41億円(5.2%増)
-----------	--------------

- ▶ 日本、米州の売上堅調。欧州はゴルフ品の販売苦戦で減収。
- ▶ 高付加価値のランニングシューズが引き続き売上を牽引。セノー連結による影響約19億円。

営業利益	30億円	14億円減(31.6%減)
------	------	---------------

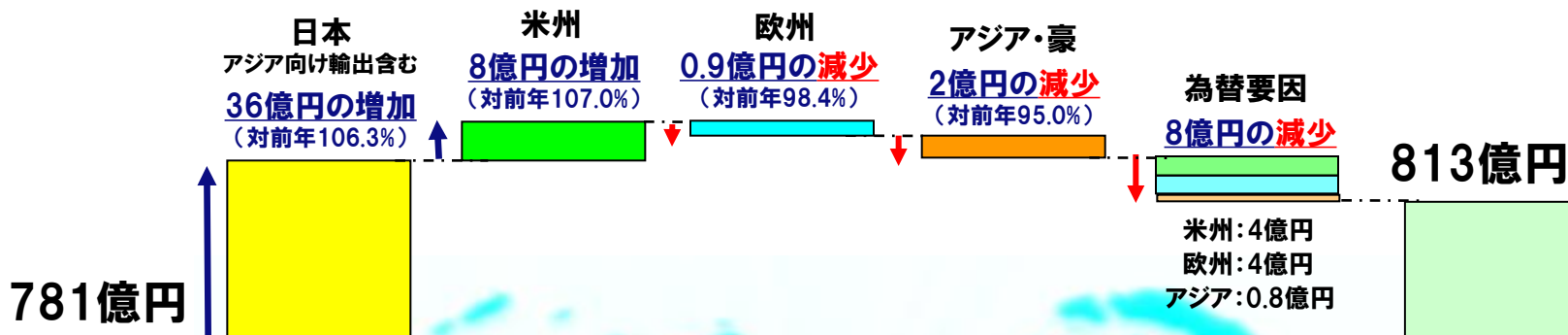
- ▶ 仕入コスト増により売上総利益率1.0P低下。ロンドン五輪などへの積極的な販促投資による経費増で減益。

経常利益	26億円	13億円減(33.4%減)
------	------	---------------

- ▶ 営業利益減による。

純利益	17億円	5億円減(23.7%減)
-----	------	--------------

■ 換算為替の影響を除いた所在地別の売上増減と換算為替影響



- ▶ 日本: スポーツシューズ伸長、ゴルフ品回復。セノー連結により売上増。
- ▶ 米州: スポーツシューズ2桁成長。ゴルフ品も堅調。
- ▶ 欧州: スポーツシューズはランニングに加えインドアも堅調だが、ゴルフ品販売不振。
- ▶ アジア・豪: ランニングシューズが台湾・豪州で好調。中国販売は横ばい。決算調整項目を覗けば増収

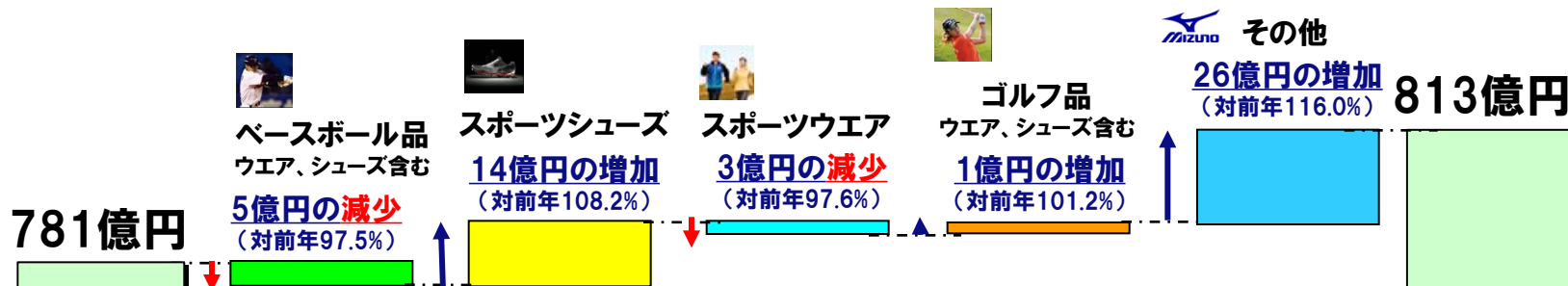
連結合計売上高

連結所在地別売上高
12年度



売上高合計

■ 為替の影響を含む、連結商品別の売上増減



- ▶ ベースボール品: 日本、米州ともに微減。
- ▶ スポーツシューズ: 全てのエリアで好調。米州では2桁成長。
- ▶ スポーツウェア: 決算調整により総額が減少しているが、外部販売は各地で増加。
- ▶ ゴルフ品: 日本、米州で好調。欧州は景気低迷の影響を受け苦戦。

連結商品別売上高
12年度

196億円	184億円	135億円	112億円	185億円
ベースボール品	スポーツシューズ	スポーツウェア	ゴルフ品	その他
201億円	170億円	138億円	111億円	160億円
ベースボール品	スポーツシューズ	スポーツウェア	ゴルフ品	その他

11年2Q

12年2Q




- 利益率の低下とセノー(株)子会社化に伴う総資産の増加により指標低下。

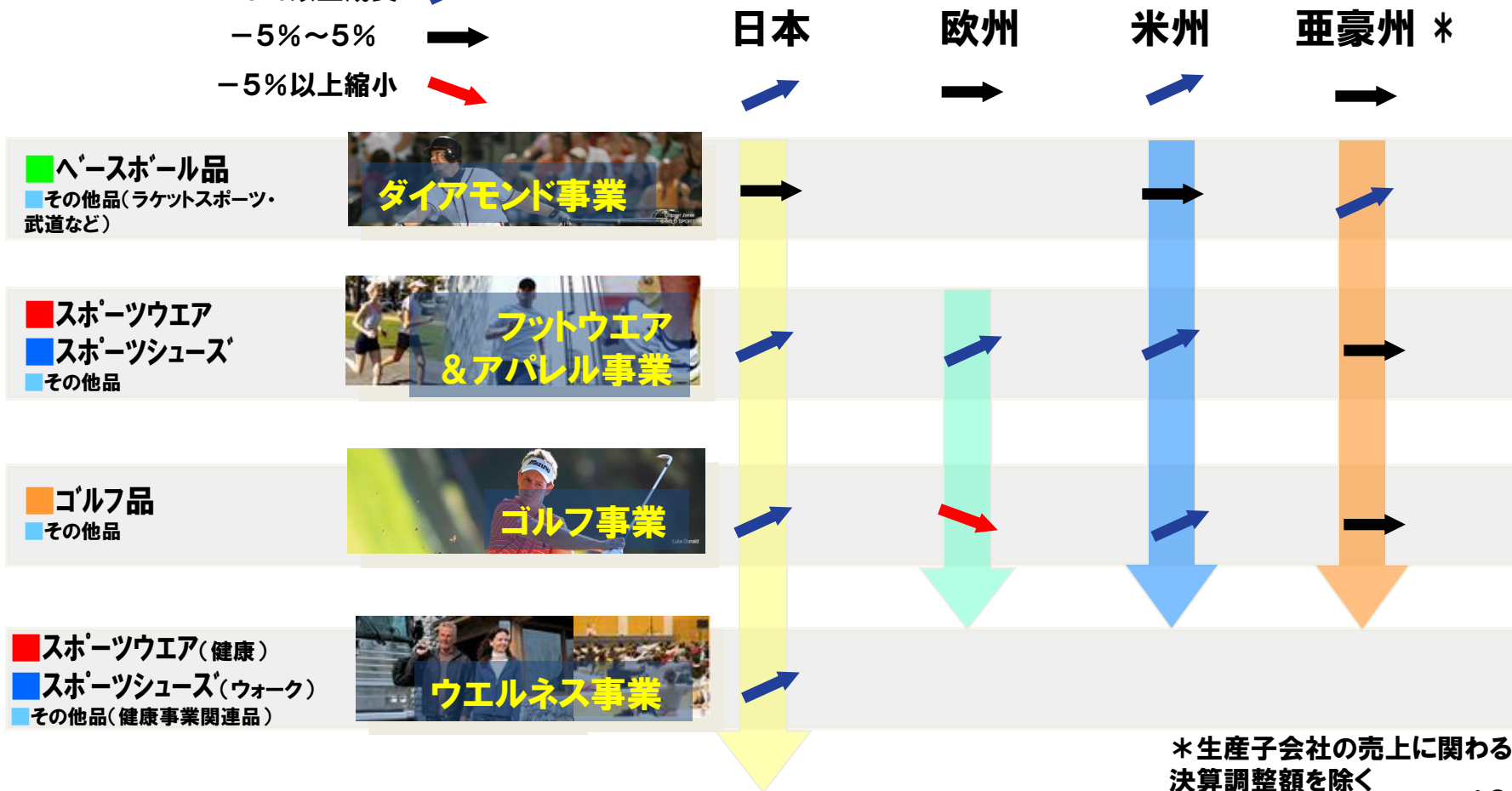
	11年度2Q	12年度2Q	前年同期比 増減
総資本事業利益率 (ROA)	3.6%	2.4%	-1.2P
自己資本利益率 (ROE)	3.0%	2.2%	-0.8P
自己資本比率	61.5%	55.8%	-5.7P
一株当り利益 (EPS)	¥17.91	¥13.65	-¥4.26
一株当り純資産 (BPS)	¥610.45	¥624.25	+¥13.80
株価純資産倍率 (PBR) (倍)	0.66	0.63	-0.03
基準株価 (各年度3月末日)	¥403	¥391	-¥12
配当性向	27.9%	36.6%	+8.7P

各リージョン、事業の概況

■ グローバル ビジネス ユニット (グローバルでの戦略意思決定の単位)

■ 12年度売上高の概要(対前年成長率) 為替の影響を除いた現地通貨ベース

+5%以上成長 
 -5%~5% 
 -5%以上縮小 



*生産子会社の売上に関わる
決算調整額を除く

12年度実績（累計） 日本

実績概要と推移

▶ 12年度累計 実績(事業別)

金額:億円

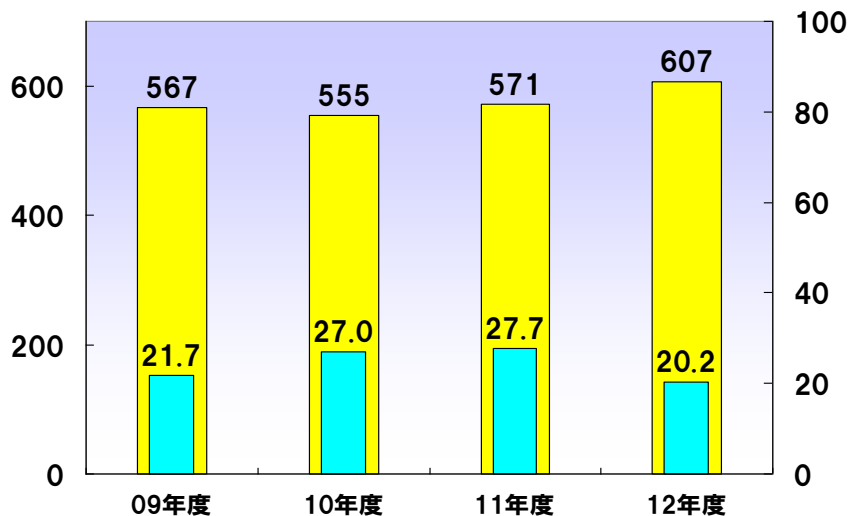
(アジア輸出含む)

	日本計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ	ウエルネス	その他
売上高	607	160	206	64	86	91
前期比	106%	105%	99%	108%	105%	-

売上
金額:億円

売上高
営業利益

営業利益
金額:億円



12年度 状況

【セノー(株)子会社化】

- 7月から9月の3ヶ月実績を加算。
- 上記による売上増は約19億円。

【ゴルフ事業の回復】

- カスタムクラブ販売が順調に推移。
- 国内販売は震災前の売上水準に回復。

【ウエルネス関連品の拡大】

- ウォーキングシューズ、健康トレーニング器具の売上が順調に増加。

今後の施策・展望

【イベント効果によるブランド価値向上】

- 五輪での露出効果の有効活用。
- NPB「侍ジャパン」をサポート。

【ランニングビジネスの拡大】

- 大阪マラソンなどのスポンサー大会活用。
- テックバン車両の導入。

【機能アパレルの販売強化】

- キャンペーンによる認知度向上と新製品の投入。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

12年度実績（累計） 欧州

実績概要と推移

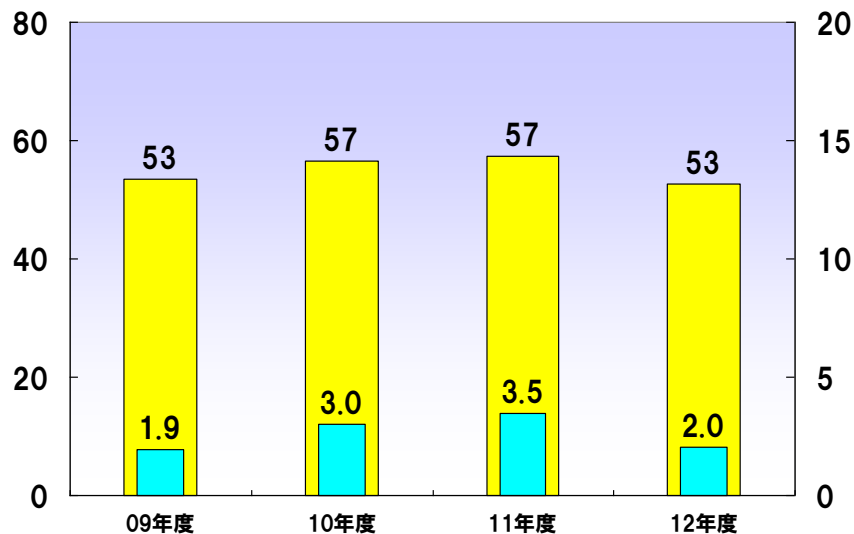
▶ 12年度累計 実績(事業別)

金額:億円

	欧州計	フットウェア & アパレル	ゴルフ
売上高	53	42	11
前期比	92%	99%	80%
為替影響 除く	98%	105%	82%

売上高
金額:億円

売上高
営業利益



営業利益
金額:億円

12年度 状況

【ゴルフ市場の縮小】

- 欧州金融危機・悪天候の影響により販売減。
- カスタムフィッティングの充実により市場シェアは維持。

【欧州通貨安によるコスト増】

- ドル建て仕入れに対する為替影響。

【五輪効果によるブランド認知度向上】

- 現地パフォーマンスセンターの活用。
- インドアシューズなどの評価向上。

今後の施策・展望

【経費・仕入コントロールによる利益確保】

- 欧州経済の回復の遅れに対応。

【スポーツシューズ拡販】

- ランニングに加え、五輪で評価の上がったインドアシューズの販売を強化。

【ゴルフ事業の巻き返し】

- 新製品とカスタムフィッティングを軸に販売強化。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

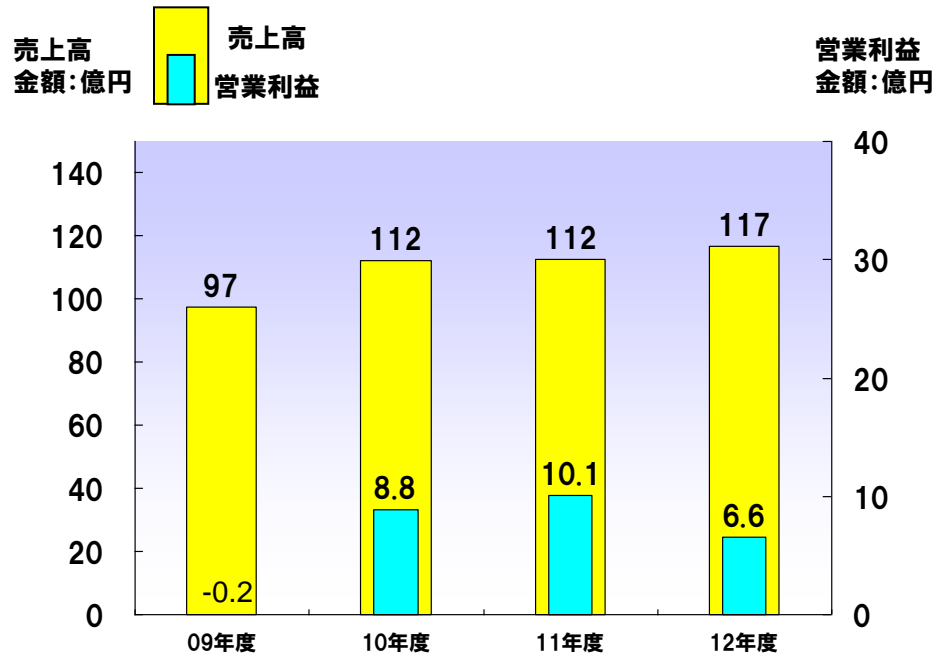
12年度 実績（累計） 米州

実績概要と推移

▶ 12年度累計 実績(事業別)

金額:億円

	米州計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ
売上高	117	55	39	23
前期比	104%	112%	96%	102%
為替影響 除く	107%	113%	98%	105%



12年度 状況

【仕入コスト増による利益率低下】

– 販売価格の値上げで吸収しきれず。

【ランニングシューズ販売好調】

– ランニング専門店に加え、スポーツ大型店チャンネルでの高価格帯商品の販売が好調。

【ゴルフ契約選手の活躍】

– カスタムフィッティングとの相乗効果でゴルフクラブ販売が順調に推移

今後の施策・展望

【ランニング事業の成長加速】

– ランナーズワールド誌など各種専門誌での高評価を体感キャンペーンを通じて実証し販売増につなげる。

【ゴルフクラブ販売強化】

– 他リージョンと同様に新製品とカスタムフィッティングを軸に販売を促進。

【南米代理店との関係強化】

– ブラジルでのワールドカップサッカー、五輪に向けて現地代理店との連携を強化。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

12年度実績（累計） アジア・豪州（日本からの輸出を除く）

実績概要と推移

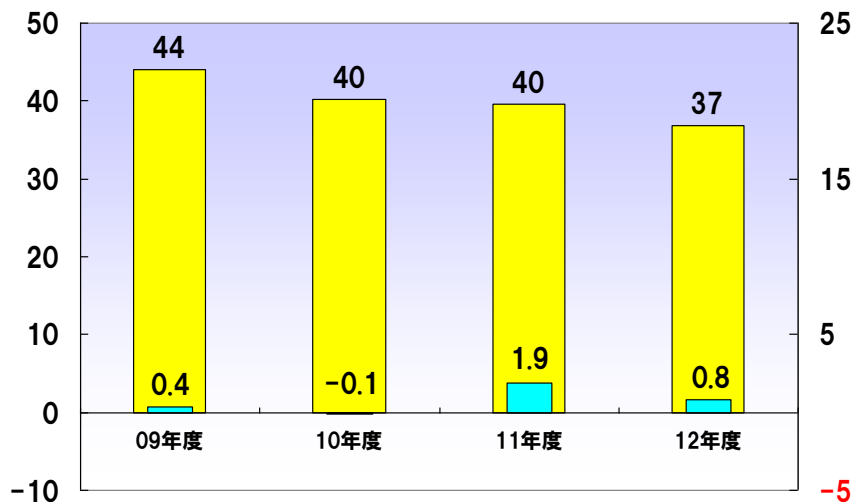
▶ 12年度累計 実績(事業別)

金額:億円

	アジア計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ	その他
売上高	37	34	2	7	-6
前期比	93%	103%	116%	101%	-
為替影響 除く	95%	104%	121%	103%	-

売上高
金額:億円

営業利益
金額:億円



12年度 状況

【実販売ベースでは増収確保】

- 生産子会社に関連する決算調整を除く実販売ベースでは対前期比約3%の増収。
- 台湾・豪州は増収、中国は横ばい(為替影響を除く)。

【ランニング品を中心にシューズ好調】

【仕入コスト増による利益率低下】

今後の施策・展望

【中国情勢による影響】

- デモによる店舗の直接被害はなし。
- 店舗販売は横ばい。
- 大口納品などで日本ブランド排斥の影響を受ける懸念あり。

【台湾での健全成長】

- グラスルーツ販促活動を中心にした安定的成長により現在の高利益率を確保する。

【豪州ビジネスの成長加速】

- 2015年度までに2011年度売上の倍増を目指す。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

■ 事業スローガン 「Be Professional!」

2012年度上期はロンドン五輪での日本選手団のメダル多数獲得やゴルフ契約選手の活躍など良いニュースが続きました。これらを下期および今後のビジネスへの追い風として再成長へのシフトを加速してまいります。欧州経済の回復が依然として遅れていることに加え、中国での反日活動の影響など不透明な情勢が続きますが、厳しい環境にも耐えうる企業体質を身に着けるために常に変革を心がけ、事業パフォーマンスの向上に努めます。

2012年度 年度方針

経営維新

技術維新

人財維新